林野火災

林野火災は…

多くは失火により発生し、飛び火により延焼拡大する傾向にある。

火災が多く発生する時期と条件

- 火災の約７割が冬から春（１月～５月）にかけて集中
- 冬は落ち葉が積もって燃えやすい状態
- 冬は太平洋側は特に乾燥した状態となる
- 冬は強い風が吹く

飛び火の危険な条件

1. 強風【火の粉　→　風にのる　→　落下して着火】
2. 乾燥【乾燥すると着火しやすい環境となる】
3. 周囲に可燃物が堆積している環境

【飛び火の飛散距離は100mから1,000mになることも】

火災を起こさないために

たき火などをする際は

- 周囲に燃えやすいものがないことを確認
- 消火用の水を準備
- 火から目を離さない
- 使用後は完全に消火
- ルールを守る



草津市・栗東市・野洲市の区域図はこちら　↓



林野火災注意報・林野火災警報について

林野火災注意報	• 前３日間の合計降水量が１㎜以下かつ前30日間の合計降水量が30㎜以下または「乾燥注意報」が発表 • 火の使用制限の対象地区内では、火の使用制限に努めなければなりません
林野火災警報	• 林野火災注意報の発令指標に加え、「強風注意報」が発表 • 火の使用制限対象区域内では、火の使用制限に従わなければなりません 【罰則のある義務】

火の使用制限区域　※延焼危険が高い森林

草津市	金勝アルプス等を含む付近一帯の森林
守山市	指定なし
栗東市	金勝アルプス・安養寺山・日向山等を含む付近一帯の森林
野洲市	三上山・妙光寺山・田中山・鏡山・菩提寺山等を含む付近一帯の森林